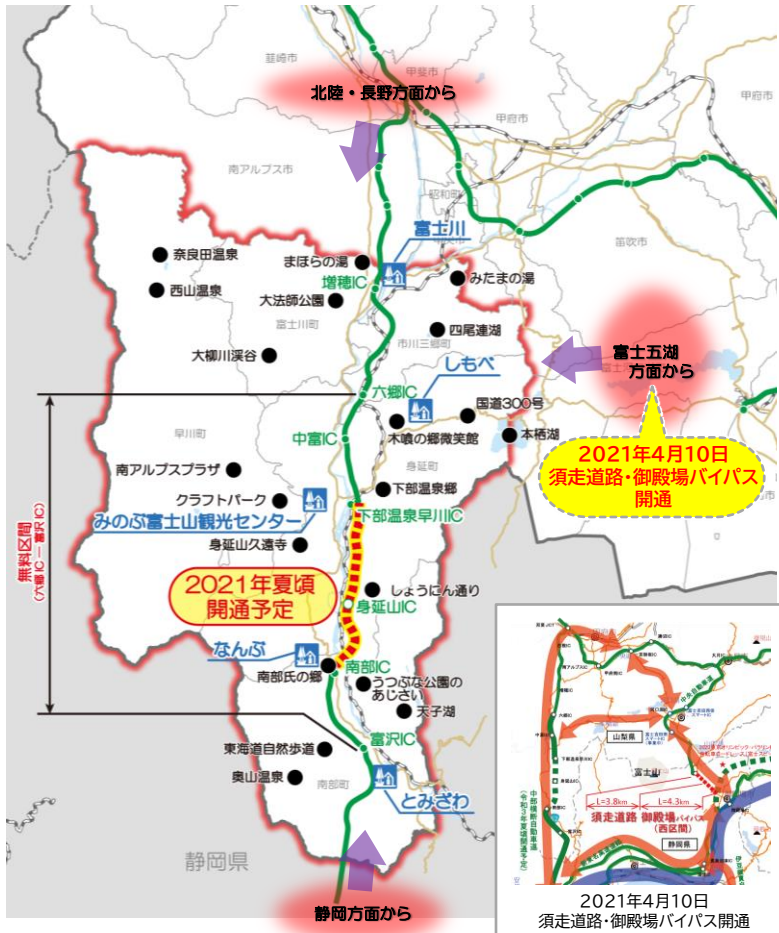


取り組みの趣旨

- 中部横断自動車道開通に伴い増加が見込まれる県内外の観光客を峡南地域に呼び込み、更なる地域活性化につなげる契機とします。
- 峡南地域の5つの道の駅が連携し、一貫性をもち戦略的に情報・サービスを提供することにより、地域の魅力向上や周辺地域への経済波及効果の最大化が目的です。
- 個々の道の駅単独では実現が難しい取り組み・活動を、5つの道の駅が連携(ネットワーク化)して行うことで、相乗効果を期待します。

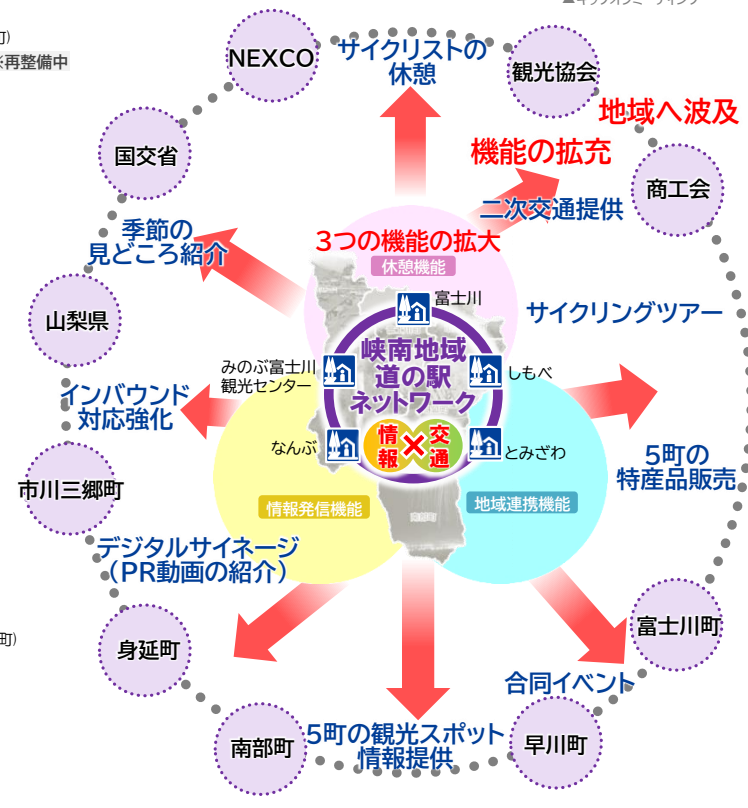
対象地域と地域資源

- 中部横断自動車道沿いで多くの魅力的な観光資源を持つ5町を対象とします。
- 道の駅を中心によりいっそうの連携を図ることで、地域活性化を目指します。



峡南地域 道の駅ネットワークが目指す方向性

○道の駅の基本機能、「休憩」「情報発信」「地域連携」の3機能を拡充し、地元行政、道路管理者、関連団体が相互に連携し、地域での新たな価値を創造します。



具体的な施策展開 ●地域の魅力やイベントを発信する『情報ネットワーク化』と、地域内の移動を充実させる『交通ネットワーク化』の2つの施策を同時展開します。 ●これらの施策の展開にあたっては、行政主体ではなく、地域との協働の下、一丸となって取り組んでいきます。

情報のネットワーク化

考え方 ○効果的、効率的な情報発信を行うため、地域ブランド化、オモテナシを進めると共に、プロモーションツールの整備・開発・活用を戦略的にを行います。

取組① 地域のブランディング

○ほかの場所のない地域の魅力を改めて発見し、統一感を持って磨き上げを行っていくためには、共通のコンセプトが必要です。
○道の駅ネットワーク協議会を通じ、以下の通りブランディングコンセプトを決定します。

■ブランディングに向けた地域共通の考え方

主に首都圏・静岡方面からの、個人又は小グループ向けに、歴史・文化・伝統や、豊かな自然を、およそ1泊程度のゆったりとした時の中で、地域のオモテナシをもって肌で体験することで価値を創造し、峡南地域のファンになっていただきます。

観光の現状

- ・首都圏及び静岡県からの来訪が大半
- ・入域する来訪客の約7割が自動車モード
- ・地域へはリピート客が多い傾向
- ・特に、「歴史」「自然」「温泉」等が人気

峡南地域の特性

- ・中部横断道及び新東名、須走道路・御殿場BP等の道路整備により、首都圏・静岡方面からアクセスが大幅に改善
- ・観光資源は点在し、宿泊施設は少なくかつ小規模

地域ニーズ

- ・地域の魅力を活かした4つのテーマ設定で来訪客をオモテナシしたい
- ①歴史(日蓮) ②伝統工芸(書道)
- ③自然・癒し ④レジャー

これからのトレンド

- ・個人の価値観や地域での交流が重視され、『本物の地域との出会い』が旅に求められる
- ・新型コロナウイルス感染症を経て、『自動車』による『近場(自県・隣接県)』が人気

コンセプト

峡南で、日本人修養

県南西部、富士山の西側に位置する5町から構成される峡南地域。

この地ならではの美しい原風景、その中で脈々と育まれてきた文化・伝統。派手さはないが滋味豊かな味わい、今尚息づく匠の技の数々。

そんな新しい時代だからこそ再認識し、未来に活かしたい「日本人らしさ」を、名峰に挟まれる富士川流域での旅中でゆったりと体験していただく。

取組② 地域でのオモテナシ

○4つのテーマに沿って、高速道路等の開通に向けた魅力あるイベントを実施します。

1. 歴史・文化

○周遊マップ、観光アプリを整備して、身延山門内地域及び日蓮に所縁のある資源に回遊を促進します。



周遊マップ



アプリ

3. 自然・癒し

○大柳川渓谷では、富士川町と協働で、地元住民のガイドによるオモテナシを実施します。



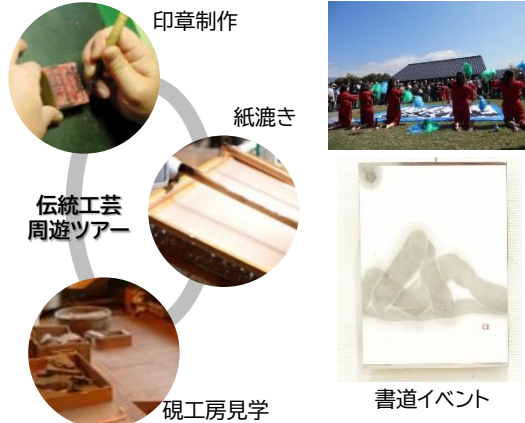
○地域内の富士山ビュースポットを発掘・発信し、SNSを活用したフォトコンテストを開催します。



地元住民が知る隠れたフォトスポット

2. 伝統工芸

○峡南地域の伝統工芸を活かし、書道道具の制作体験・工房見学と書道イベントを実施します。



4. レジャー

○ゆるキャン△とコラボし、アニメの一場面を切り取ったような写真が撮れるフォトスポットを整備・発信します。



○峡南の豊かな自然を活用し、都会ではできないような自然とのふれあい体験スポットを紹介します。



情報のネットワーク化

取組③ プロモーションツールの整備・開発・活用

○旅の各段階(旅マエ・旅ナカ・旅アト)毎に、峡南地域に関する情報発信を行うことで、来訪者の誘発や、地域内で趣味嗜好に合致した旅ができるようプロモーションツールの整備・開発・活用に取り組みます。

(1) 情報プラットフォームの強化イメージ



(2) SNSの活用

- ・公式SNSの立ち上げ
- ・SNS広告の活用
- ・旅行者の投稿

- 地域の魅力、観光資源を発信
- 来訪者からの口コミ(写真付)
- 情報プラットフォームとの連動



(3) オリジナルポスターの制作・設置



(4) 道の駅でのデジタルサイネージ



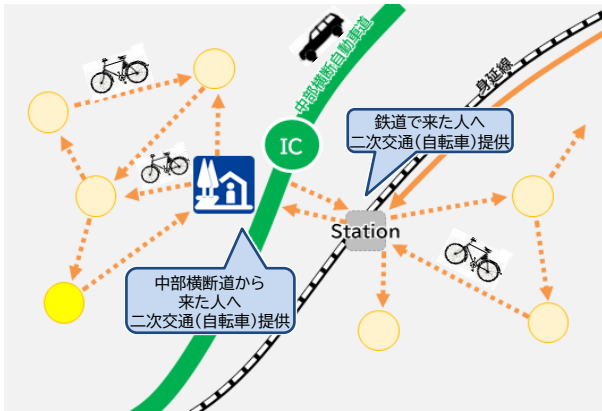
(5) 専門誌・専門サイト・フリーペーパー等の活用



交通のネットワーク化

考え方

- 来訪者が最初に立ち寄る施設(道の駅、鉄道駅等)から、周辺の地域資源への周遊を促進するため、二次交通を提供します。
- 二次交通として、県施策としても力を入れている「自転車」を活用し、交通のネットワーク化を進めます。
- また、二次交通の利便性の向上、峡南地域の各施設の予約等を目指す「観光型MaaS」の展開に向け、検討・試行します。



I 魅力あるルートを設定します

- ・道の駅を拠点とし、自転車での周遊ルートを設定します。
- ・峡南地域のコンセプトに関連する観光施設や地域資源を、自転車で周ること、街並みや豊かな自然も体感いただくことを目指します。
- ・ルート上では、マップやスマホを見ずに自転車で周遊が可能となるよう、現在地や主要地点までの距離を示す路面標示・看板を設置します。



▲ルートの景観性を向上させる例 (防護柵の工夫)

▲山梨サイクルネット構想で推進中の路面標示・標識

II サクリストを支援する拠点整備に取り組みます

- ・受入側の環境整備もあわせて実施していくことが必要です。
- ・各拠点で来訪者をおもてなし、サポートをするメニューを展開します。

■道の駅では・・・

●レンタサイクルの提供



●サイクルMAPの配布



●魅力あるイベントの開催



●エイドステーションの設置



【対象となる道の駅】

富士川、なんぶ、みのぶ、とみざわ、しもべ

■観光施設等では・・・

●サイクルラック等の設置



●利用しやすい機能強化



- イベント等への協力
- ディープな地域情報の紹介

■鉄道駅では・・・

●移動のサポート



自転車の持ち込みが可能な電車・バス



レンタサイクルの乗り捨て

III 情報発信・移動サービスの向上に取り組みます

- ・峡南地域での「観光型MaaS」の展開(レンタサイクルや周辺観光地での体験の一括予約など)を目指し、検討・試行していきます。
- ・地域の体験と自転車を組み合わせたコースの紹介やイベントを通じ、自転車での周遊を促進します。

・「観光型MaaS」の展開に向けた試行



●やまなし観光MaaSの取り組み

- 道の駅や鉄道駅でのレンタサイクル予約や、レンタサイクル利用者への加盟店舗での割引サービス、周辺観光地の体験予約などを可能とする観光型MaaSの展開に向け、峡南地域で検討・試行

●シェアサイクルの予約＋クーポン機能の例

- (大津市「ことことナビサイクル」)
- 専用アプリからシェアサイクルの予約・決済
- シェアサイクルのチケットを購入後、市内で利用可能なクーポンを取得

・地域の魅力を伝える工夫

●地域での体験や郷土料理と組み合わせた周遊コース

- モデルルートや地域資源等のコースマップの作成
- 少人数向けの自転車周遊のガイドツアー



・サイクリストを呼び込む工夫

●情報のネットワーク化と連動した広報

- モデルルートを走行した動画の作成
- 開通に合わせたイベント実施



具体化は、今後各関係機関・部署と連携を図り実施

道の駅役割

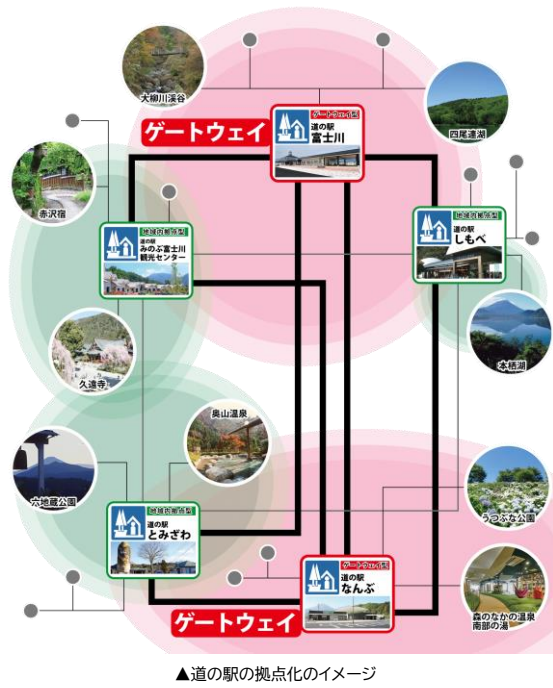
●道の駅を『ゲートウェイ型(富士川・なんぶ)』と、『地域内拠点型(みのぶ・とみざわ・しもべ)』に分類し、各駅の道の駅の特徴に応じ機能・サービスの拡充を図ります

ゲートウェイ型 道の駅 (富士川、なんぶ)

- 遠方の来訪者が、**最初に立ち寄る地域のゲートウェイ** (玄関口) としての機能が、**【今後検討していく項目】**
- 具体的には、峡南の観光資源や開催中のイベント、他の道の駅等に関する情報を、**観光コンシェルジュやデジタルサイネージ**等を用いて広く発信します。
- 二次交通手段として**レンタサイクルの配置**や、**サイクリストへの支援**を行います。

地域内拠点型 道の駅 (みのぶ、とみざわ、しもべ)

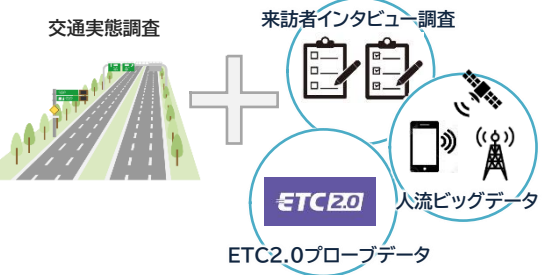
- 各道の駅周辺の観光資源等を中心に、各駅の特徴を活かしながら情報発信する機能が、**【今後検討していく項目】**
- 道の駅周辺で**体験できるプログラムの案内や予約**を担うと共に、峡南地域道の駅ネットワークで企画する**4テーマのイベントの支援施設**として活用します。
- その他の道の駅と連携し、**特産品の相互販売**、**マルシェ**等を行い**地域全体の魅力を発信**します。
- サイクリストへの支援** (補修器具販売や工具貸し出し他) も実施します。



施策による効果の検証

- 中部横断自動車道の全線開通(令和3年夏頃)及び、当プロジェクト(峡南地域道の駅ネットワーク)の施策実施により、峡南地域に訪れる人や流れが大きく変容することが予想されます。
- この変容を、客観的なデータを持って定量的に把握することで、プロジェクト実施による効果を把握し、次なる施策展開へ繋げていくことが必要です。

これまでの周辺道路での交通量調査に加え、来訪者インタビュー調査、ETC2.0プローブデータ、人流ビッグデータにより、より詳細に行動の変化を捉えます。



○明らかにすること

- ①峡南地域には、どこからどんな人が来ているか
- ②地域への、どこに人が来ているか
- ③地域内では、どんな行動をしているのか
- ④情報の収集方法は、情報をどう活用しているか
- ⑤峡南地域道の駅ネットワークでの取り組みに対する満足度

【参考:これまでの検討経緯】

開催日時	開催内容	主な議論内容
令和2年 8月19日 Wed	第1回 道の駅ネットワーク協議会 【第1部】キックオフミーティング	1) 道の駅ネットワーク化について 2) 意見交換 3) キックオフセレモニー
令和2年 11月19日 Thu	第1回 道の駅ネットワークワーキンググループ	1) 道の駅ネットワーク構想について 2) 先行事例の紹介 3) 峡南地域の現状と検討の方向性 4) 意見交換
令和2年 12月21日 Mon	第2回 道の駅ネットワークワーキンググループ	1) 意見交換 2) 地域の現状、資源等について 3) 情報発信の在り方 4) 地域活性化に向けたテーマ 等
令和2年 1月7日 Thu	第3回 道の駅ネットワークワーキンググループ	1) 意見交換 2) 地域の現状、資源等について 3) 情報発信の在り方 4) 地域活性化に向けたテーマ 等
令和3年 4月15日	第2回道の駅ネットワーク協議会	1) 第1回、2回WGの振り返り 2) 意見交換 3) 情報発信の在り方 4) 地域活性化に向けたテーマ 等

取組	令和2年度			令和3年度			令和4年度以降		
	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏
道の駅ネットワーク協議会	第1回会議	第1~3回ワーキンググループ		第2回会議	ワーキンググループ	第3回会議			
情報ネットワーク	地域のブランディング(コンセプト設定)	コンセプト設計		地域への展開	イベント準備・開催				取組みの継続化
取組②	地域でのオモテナシ	方針検討・企画							
取組③	プロモーションツールの開発・計画	方針検討・企画							ツールの更新・拡大
交通ネットワーク	魅力あるルートの設定	方針検討・企画							
取組⑤	サイクリストを支援する拠点整備	方針検討・企画							次期整備(移動サポート等)
取組⑥	情報発信・移動サービスの向上	方針検討・企画							次期整備(観光MaaSと連携等)
交通実態の把握	交通実態調査								
取組⑧	観光客の行動調査(来訪者インタビュー、ETC2.0、人流ビッグデータ)								